

## 鹿児島をもっと アツアツに♡ 「篤姫」観光キャンペーン展開中

平成20年1月から放送中の話題の大河ドラマ「篤姫」。鹿児島への注目度が高まるとともに、「篤姫」観光キャンペーンは、県だけではなく各市町村・民間企業・各メディアなどさまざまな関係機関との「連携」でアツく展開中です。

平成23年春には、九州新幹線鹿児島ルートが全線開業することから、県ではさらに魅力ある観光地づくり、観光しやすい鹿児島づくりに力を入れています。

今回の特集では、「篤姫」放映をきっかけにさらに進んでいる観光客の受入体制の取り組みや関係機関と連携した広報宣伝・誘客活動などを紹介します。

篤姫館〈鹿児島市〉

(場所) ドルフィンポート内 (鹿児島市本港5-4)  
 (開館時間) 午前9時～午後6時(無休)  
 (入館料) 大人500円(400円)  
 小人250円(200円)  
 ( )は15名以上の団体  
 (お問い合わせ) 099(216)2722



御鈴廊下風エントランス

いぶすき篤姫館〈指宿市〉

(場所) ふれあいプラザなのはな館内 (指宿市東方9300-1)  
 (開館時間) 午前9時～午後6時(無休)  
 (入館料) 大人400円(300円)  
 小人200円(150円)  
 ( )は15名以上の団体  
 (お問い合わせ) 0993(27)0800



いぶすき篤姫館エントランス

「篤姫」の世界を堪能できる  
**篤姫館**〈鹿児島市〉  
**いぶすき篤姫館**〈指宿市〉  
**好評です！**

大河ドラマ「篤姫」講演会

5月24日(土)、大河ドラマ「篤姫」講演会が鹿児島市で開催されました。「篤姫」に寄せる想い」と題した講演会では、大河ドラマの演出を担当する佐藤峰世氏によるドラマの制作過程や鹿児島ロケの裏話などの講演や、音楽担当の吉俣良氏によるピアノ演奏、また、両氏によるトークでは「篤姫」のふるさと・鹿児島への想いも語られ、約580人の聴衆は熱心に聞き入り、「篤姫」に対する関心の高さがうかがえました。



羽田空港での「篤姫」観光キャンペーン

6月4日(水)～6日(金)、県や県観光誘致促進協議会など観光関係団体が一体となって、国内最大の乗降客数を誇る羽田空港で「篤姫」観光キャンペーンを実施しました。

当日は、薩摩川内おどり太鼓の踊りや、鹿児島、指宿、霧島など鹿児島を代表する観光地の紹介、特産品などのノベルティの配布など、多くの空港利用者に鹿児島への誘客についてアピールしました。



「篤姫」キャンペーンの一環として  
 キャンペーングッズを作成しました。

かわいい「篤姫」キャラクターと一緒に、お客様をおもてなしましょう。



「篤姫」キャラクター名刺台紙  
 カラー:ピンク、若草色 計2種類  
 1箱800円(税込)



「篤姫」歓迎ワッペン  
 直径6cm プラスティック製  
 1個105円(税込)

お申し込みは、申込用紙 (<http://www.atsumi.org/pdf/meishi080315.pdf>) に必要事項をご記入のうえ、FAX、または郵送でお願いします。

申し込み・問い合わせ先  
 鹿児島県庁10階観光課内 「篤姫」キャンペーン事務局  
 TEL099(286)3006 FAX099(286)5580

原則として事務局窓口で現金と引替。郵送希望の場合は、送料着払いで別途代金の振込手数料がかかります。

篤姫ラッピングトレイン

JR九州、NHKと連携した博多～新八代間を走るリレーつばめや「篤姫」キャンペーンオフィシャルキャラクターをデザインした鹿児島市電、肥薩おれんじ鉄道(鹿児島中央～熊本間)でも篤姫をPR。



## 篤姫ゆかりの地でおもてなし

「篤姫」の放送が始まって半年が経ち、好評の指宿市今和泉地区の篤姫観光ガイドに加え、篤姫や篤姫に関連する人物ゆかりの地を巡ることができる、新たな観光ボランティアガイドの取り組みが県内各地で広がっています。

### 霧島しっちょいどん

霧島市

「しっちょいどん」とは鹿児島弁で、も  
の知りという意味。

「霧島しっちょいどん」は霧島連山を望み、自然豊かな霧島市で活躍する観光ボランティアガイドで、定点ガイドが基本です。今回は篤姫ゆかりの史跡を巡るコースのうち、霧島神宮で霧島しっちょいどんの宮ノ内正治さんの説明を聞きました。

霧島神宮は、小松帯刀らの薦めにより、霧島を訪れた坂本龍馬夫妻も参詣したところ。創建は6世紀と言われ、建國神話の主人公であるニギノミコトが祀られている古社。緑の木々に囲まれた鮮やかな朱塗りの社殿は、格調高く美しく、厳かな雰囲気にも包まれています。

ここが霧島神宮の旧参道です。坂元龍馬夫婦も参拝を終えてこの坂道を下り、宿坊に入って一泊したのでしょう。



#### 篤姫関連史跡コース

(全行程を廻るコースは)  
所要時間 約3時間

ご希望の時間に合わせて、  
各地ごとのガイドも可能

①  
霧島神宮

②  
塩浸温泉

③  
和気神社

※西郷隆盛が泊まった温泉や坂本龍馬ゆかりの地などを巡る日当山コース(所要時間約2時間)もお薦めです。

(問い合わせ先)

霧島市観光課「霧島しっちょいどん」事務局 0995(64)0895

案内時間

午前8時半～正午、午後1時～午後4時(3時半受付終了)

受付時間/午前9時～午後4時半(月曜日～金曜日)

年末年始を除く毎日営業。前日までの予約が必要となります。

案内料200円+必要な方は保険料100円。パンフレットつき。





観光ボランティアガイドの上西由美子さんと内匠洋子さん。手作りの資料など、気持ちのこもった案内が嬉しい。



観光ボランティアガイド

たくみ よこ  
内匠 洋子さん

お客様との触れ合いの中で、篤姫ゆかりの地を体感していただけたらと心がけています。名所とあわせて、四季折々の風景も感じるなど、歩くことで鹿児島の良さを発見できることはとても多いです。

観光ボランティアガイドの案内を受けながら、鹿児島市内の名所・旧跡など12コースのまち歩きが楽しめる「鹿児島ぶらりまち歩き」。

コースの中でも、薩摩が生んだファーストレディ、篤姫ゆかりの地を歩く「大河ドラマロケ地と篤姫生家をめぐる」コースが人気を集めている。

## 鹿児島市

# 鹿児島ぶらりまち歩き

### 主な見所

- 石橋記念公園(ドラマロケ地)
- 八坂神社
- 大龍寺跡
- 今和泉島津家本邸跡(篤姫生誕地)

(問い合わせ先)

鹿児島まち歩き観光ステーション 099 (208) 4701

案内時間/主に土曜・日曜・祝日の午前10時～正午(一部午前9時半～午前11時半)、午後2時～午後4時(一部午後1時半～午後3時半) 各コースとも定員15名。

営業時間/午前9時～午後5時半 ※7～8月は午前9時～午後7時前日までの予約(午後5時まで)が必要となります。参加料500円(保険料込み・高校生以上) ※7～8月はガイドの研修期間のためまち歩きは一時休止。9月より実施。

観光ステーションでは、市街地図や各種パンフレットの情報提供なども行っています。



かごしままち歩き本「みんなの遠足マップ」ができました。県内各地、17ヶ所18コースのお薦めまち歩きコースを詳細に紹介しています。

(問い合わせ先)

鹿児島県観光連盟 099 (223) 5771

# こんな動きも



「篤姫」キャンペーンオフィシャルキャラクター



正徳5(1715)年に島津吉貴によって寄進された社殿は、国指定の重要文化財。島津斉彬も嘉永6(1853)年の巡検の際に参拝している。



観光ボランティアガイド

みやの うち まさはる  
宮ノ内 正治さん

霧島市は、自然と歴史に育まれた街です。自然の恵みを肌で感じつつ奥深い歴史の一端を学び、それを皆様と共有できることを喜びとしております。春夏秋冬楽しめる霧島でお逢いしましょう。

地元の方にもまだまだ知られていないことがたくさんあります。甲突川の五石橋などを架けた岩永三五郎が奉納した、この猫足の手水鉢はお薦めです。ここは、霧島神社社務所の一角で、通常公開はしていないので、見学できるのもガイド案内ならではですよ。



## 指宿市

# 篤姫ガイド大活躍中です！

篤姫ゆかりの今和泉島津家の別邸があった指宿市今和泉地区を案内する篤姫観光ガイドが親しみやすいガイドが好評で発足1年あまりで利用者は4万人を超えています。二度訪れた方も、まだの方もぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

(問い合わせ先)

篤姫観光ガイド事務局 0993 (22) 3257

詳しくは、P20旅/リカケで紹介しています。

## 「篤姫」の世界を感じる

大河ドラマ「篤姫」の人気と相まって、菓子を始め、弁当・農産加工品・焼酎・薩摩切子などのさまざまな「篤姫」関連商品も好評となっている。

数ある関連商品の中に「篤姫酵母」を仕込に使用した焼酎がある。

「篤姫酵母」とは、昨年6月、鹿児島大学焼酎学講座の高峯和則准教授が、指宿市の篤姫ゆかりの今和泉島津家別邸跡地周辺の隼人松原から約100ヶ所の土壌を採取して培養を重ね、分離に成功した酵母だ。

この酵母を使った焼酎「天翔宙」を製品化したのは、同大学焼酎学講座の大学院で学ぶ大山修一さん。大山さんは、指宿市宮ヶ浜にある大山甚七商店を経営している。



今和泉島津家別邸跡地からの眺望



鹿児島大学焼酎学講座での実験の様子



焼酎は本当に奥深い。もっとよく知ってもらうためにも、焼酎検定などがあればと熱く語る大山さん。

多忙な中での大学院生活だが、「個人の感覚的な経験に支えられた焼酎造りが、データとしての裏付けを得ることで、技術を継承しやすくなる。また技術だけではなく、文化についても学ぶことで、視点が変わり、焼酎造りのやりがいやありがたさを改めて感じている」という。

そんな大山さんの焼酎造りへのこだわりは、「原料にこだわり、安定した品質の商品を造り続けること。蔵の伝統の味・特長を生かしながらも妥協しないで、今回の「篤姫酵母」のような、違った品質・造りの焼酎にも取り組みたい」とさらに意欲的だ。

「薩摩焼酎の伝統・歴史はふるさとの誇りある地域文化。焼酎メーカーだけではなく、一般の消費者みんなが焼酎文化の盛り上げ役となつて、県内外に向けてPRしてもらえたら。そのためにも味だけではなく、技術・文化についても知って欲しい。焼酎を愛し、焼酎文化を伝える人の輪をさらに広げていきたい」と今後の焼酎の発展について語る大山さん。

やわらかい口当たりと甘み、そしてふわりと香りが広がり女性にも親しみやすい天翔宙。まずはロックでその味わいを試してみてもらえたらとのこと。さつまあげなどの鹿児島郷土料理との相性も抜群。篤姫や鹿児島に想いを馳せながら、ゆるりと口にしてみてはいかがだろうか。



篤姫酵母仕込み 薩摩焼酎 **天翔宙**

大山甚七商店 0993(25)2410  
住所/鹿児島県指宿市西方4657

# 篤姫と鹿児島をもつと楽しもう



鹿児島県観光プロデューサー  
奈良迫 英光さん

## 大河ドラマ「篤姫」効果と今後の展開

「篤姫」の視聴率の高さの要因は、彼女のひたむきに生きる姿が女性の支持を得ていることが上げられます。母と娘と一緒にテレビと向き合いながら、語られている家庭が多いと聞きます。また、構成がホームドラマ風で、いままでの歴史ドラマのイメージを変えたのではないかと思います。薩摩生まれの女性の活躍に、県外に住む出身者は今、誇らしげに「故郷鹿児島人」を名乗っている方が、増えていると思います。

放映効果も県内の観光の随所に現れています。指宿の今和泉地区ではボランティアガイドが誕生し、地域とそこに住む人が元気になる、観光客を温かく迎えています。

鹿児島と指宿の「篤姫館」は、入館者が予想を超えて伸びており、目標を上方修正しています。関連する鹿児島市内の施設も、入館

者数は前年同時期の二けたの伸びです。また、「篤姫」関連の物販も好調な売れ行きです。篤姫放映は、多くの分野に経済波及効果をもたらしています。

国内旅行が低迷する中で、本県の来年以降の観光客誘致にどのような影響が、大きな課題です。今観光のけん引役は女性です。篤姫を育んだ鹿児島が、女性たちを選び、旅行に行つてみたい地域となるためには仕掛けが必要です。女性は流行に敏感であり、本物を求めます。篤姫の着用した着物の展示や、好んで食べた食の提供、ロケ地の案内などドラマの再現が必要です。スイーツのお店、しゃれた工芸店、花と緑の雰囲気作りなど女性が散策したくなるような街づくりが求められます。また、先見性を持ち集成館の近代化事業を進めた島津斉彬は、来年が生誕200年にあたります。彼の残した遺産を内外にPRしていくことも重要です。

鹿児島にはかつて「郷中教育」という制度があり、明治維新の礎を築いた多くの偉人を輩出しました。そのDNAは何であったのか、それを検証し伝えていく必要もあります。

中央駅から加治屋町周辺の偉人誕生地、維新ふるさと館、天文館、照國神社、黎明館に至る歴史ロードの魅力付けも欠かせません。

地域の魅力に惹かれて人は旅に出ます。篤姫の世界に浸りながら、鹿児島を訪ねる観光客が増加することを期待します。

篤姫と彼女をとりまく人々ゆかりの品、江戸城大奥の華麗な衣装や調度品、幕末・維新期の騒乱を伝える歴史資料などで構成し、篤姫の波乱に満ちた生涯を知ることができる。東京・大阪で人気を博した篤姫展がいよいよ鹿児島に里帰りする。

NHK 大河ドラマ特別展・黎明館開館25周年記念企画特別展

## 天璋院 篤姫 展



天璋院所用 小袖  
(萌黄縮緬地雪持竹雀文様牡丹紋付)  
徳川記念財団 蔵 [9月6日~9月19日展示]



天璋院所用 貝合道具  
(黒塗桐鳳凰文蒔絵貝桶・合貝)  
江戸東京博物館 蔵 [9月6日~9月28日展示]

会場/鹿児島市城山町7-2 鹿児島県歴史資料センター黎明館  
開催期間/平成20年9月6日(土)~10月17日(金)  
開館期間/午前9時~午後5時(入館は午後4時半まで)  
観覧料/一般1,000円(前売800円) 高大生600円(前売480円) 中学生以下無料  
休館日/9月8日(月)、16日(火)、25日(木)、29日(月)、10月6日(月)、14日(火)  
問い合わせ/099(222)5100

あなたも観光プロデューサーをしよう!

県外の知人・友人に、「篤姫」キャンペーンガイドブックと「鹿児島にぜひ旅行に来てほしい」という手紙を送ろうという、県民参加型の「篤姫」観光客誘致運動がまもなく始まります。このキャンペーンを県民全体で展開し、鹿児島ファンを増やしましょう。

友達にあなただけのお薦めのスポットを紹介してみよう。

